

第2章 第1次防府市図書館サービス振興基本計画における取組・成果

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

防府図書館の令和元年度の資料購入費は30,892,258円でした。

そのうち図書(視聴覚資料を含む)購入費は26,100,405円、新聞・雑誌等(法令追録等を含む)購入費は4,791,853円です。しかしながら、この購入費は、平成29年度の人口10万人以上15万人未満の都市103市区の図書館資料費決算額全国平均(2018年度統計『図書館年鑑2019』より)の31,100千円(新聞・雑誌等を含む)には達しておらず、県内他市に比べても決して多くはありません。

●資料費推移

(単位：円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
図書	25,481,980	24,531,966	30,523,539	25,288,312
A V資料	464,755	651,982	690,294	812,093
新聞・雑誌等	4,443,665	4,415,565	4,588,129	4,791,853
合計	30,390,400	29,599,513	35,801,962	30,892,258

令和2年3月31日現在、分類別の図書受入及び蔵書冊数は以下の通りで、第1期計画期間中の4年間で蔵書冊数については、約5万2千冊の増加、視聴覚資料(A V資料)については、約600点増加しました。

●分類別図書受入及び蔵書冊数

分類別		平成 27 年度末 冊 数	令和元年度末 蔵書冊数	4 年間の 増加冊数
一 般	0 総 記	10,729	12,041	1,312
	1 哲 学	15,346	17,307	1,961
	2 歴 史	31,239	34,506	3,267
	3 社会科学	55,404	62,515	7,111
	4 自然科学	26,742	30,683	3,941
	5 技 術	34,552	39,845	5,293
	6 産 業	14,640	16,293	1,653
	7 芸 術	26,135	29,722	3,587
	8 言 語	7,195	8,002	807
	9 文 学	101,084	111,513	10,429
	計	323,066	362,427	39,361
児 童	0 総 記	1,259	1,422	163
	1 哲 学	1,005	1,199	194
	2 歴 史	4,436	5,027	591
	3 社会科学	3,601	4,463	862
	4 自然科学	6,954	7,983	1,029
	5 技 術	2,683	3,119	436
	6 産 業	1,522	1,840	318
	7 芸 術	4,072	4,513	441
	8 言 語	1,264	1,484	220
	9 文 学	35,460	37,610	2,150
	絵 本	32,949	36,642	3,693
	紙芝居	1,917	2,165	248
	計	97,122	107,467	10,345
	○合 計	420,188	469,894	49,706
郷 土	山口県	10,291	11,236	945
	防府市	9,246	10,176	930
○合 計	19,537	21,412	1,875	
外国語の図書		2,681	3,261	580
点字図書		310	345	35
◎総 計		442,716	494,912	52,196

● A V資料受入点数

資料種別	平成 27 年度末 点 数	令和元年度末 所蔵点数	4 年間の 増加点数
C D	6,314	6,822	508
カセット	497	469	△28
L D・VHS	236	236	0
D V D	586	708	122
CD-ROM	93	94	1
合 計	7,726	8,329	603

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる
図書館

図書館は、様々な世代や立場の利用者が来館しやすいように、毎月の月例整理休館を廃止して開館日を増やし、土日祝日の開館時間を延長して年間の開館時間の増加に取り組みました。

成人サービス・児童サービス(乳幼児サービスを含む)・ヤングアダルト(青少年)サービス(注2)など、それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるようコンピュータ・システムを更新し、その円滑な運用により、サービスの強化に努めました。それにより利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳(注3)の作成ができるようになり、また、Web上においては、利用者が読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の新たなサービスを導入しました。

また、図書館のサービスを広く周知するために、毎月「ほうふ図書館だより」と「ほうふとしょかんこどもしんぶん」の発行をしており、イベント広報等については、市広報「ほうふ」を活用しました。防府市文化振興財団機関紙である「イベントアイ」や財団広報「メールマガジン」にも図書館関係記事を掲載しました。

(注2) **ヤングアダルト(青少年)サービス**：中学生・高校生などティーン・エイジャーへの図書館サービス。児童室または児童コーナーとは別にヤングアダルト・コーナーを設けて独自の蔵書を構成し、貸出の他にブックトーク、読書会、ミーティングなどを通して、地域社会の青少年交流の場を形成する。

(注3) **読書手帳**：図書館で借りた本の書名、著者名、出版社、利用日が印字されたのり付きシールを、希望する利用者に貸出カウンターで即時発行するサービス。このシールを読書手帳や手持ちのノートに貼ることで、読書履歴を個人管理することができる。

さらに、地域コミュニティーFMラジオ番組「FMわっしょい」や図書館主催行事の「ビブリオバトル(注4)」の告知番組等に積極的に出演するなど、いろいろなメディアを通じて、図書館の広報活動を行いました。

平成27年度から令和元年度までの図書館利用状況は、以下の通りです。

●入館者数

単位：人

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
265,533	261,219	258,584	253,135	229,980

●館外個人貸出者数

単位：人

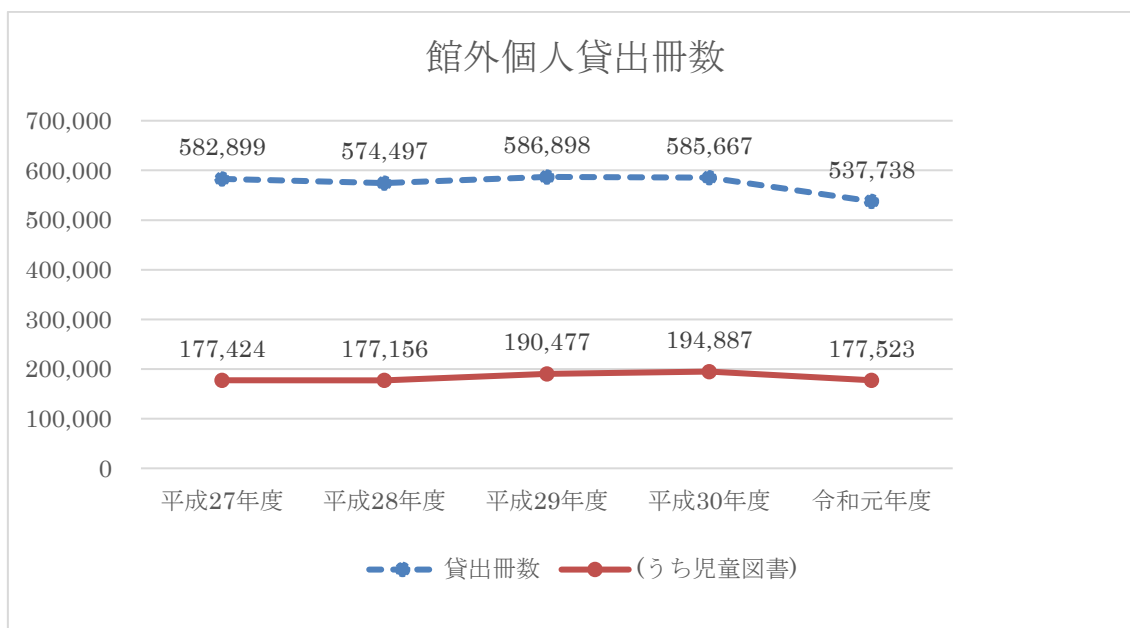
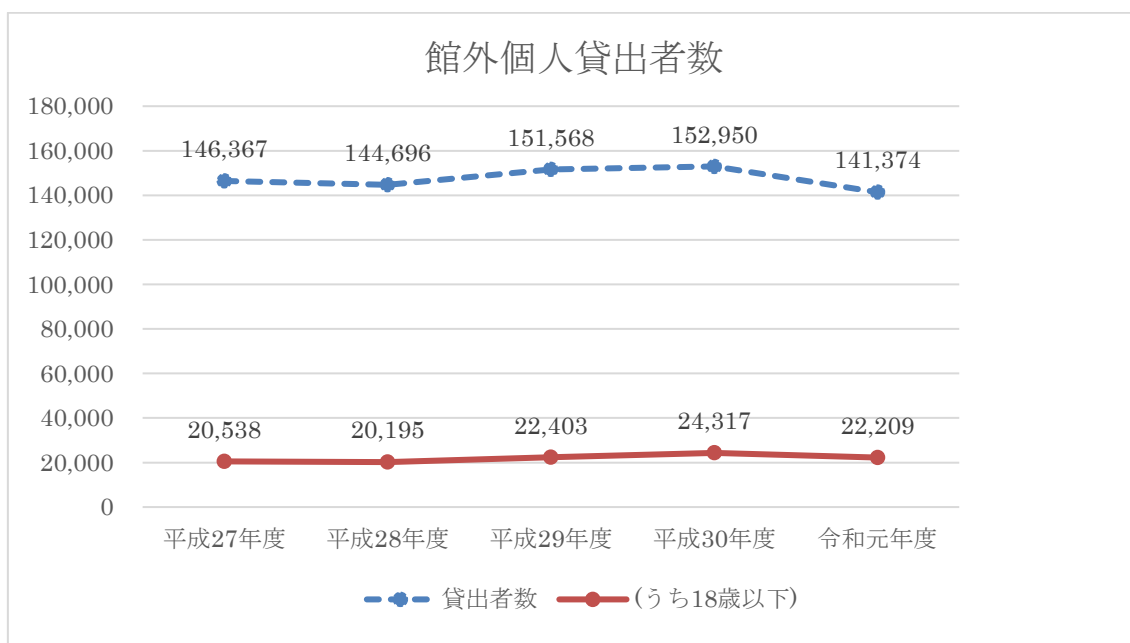
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
66歳～	33,081	34,203	36,834	39,237	37,699
51歳～65歳	34,295	33,835	33,453	34,079	32,044
41歳～50歳	26,415	25,736	27,275	26,396	24,739
31歳～40歳	23,364	22,441	22,686	21,265	18,358
23歳～30歳	6,481	6,109	6,178	5,258	4,419
19歳～22歳	2,193	2,177	2,739	2,398	1,903
16歳～18歳(高校生他)	2,095	2,226	2,162	2,068	1,613
13歳～15歳(中学生)	2,750	2,510	2,461	2,596	2,598
7歳～12歳(小学生)	11,685	11,385	13,461	15,006	13,521
0歳～6歳(乳幼児)	4,008	4,074	4,319	4,647	4,477
合計	146,367	144,696	151,568	152,950	141,371

(注4) **ビブリオバトル**：知的書評合戦。「ビブリオ」は本、「バトル」は戦いという意味。小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲームで、学校や図書館においても、本を好きになるための新たな試みとして広がっている。

●館外個人貸出冊数

単位：冊

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
貸出冊数	582,899	574,497	586,898	585,667	537,738
(うち児童図書)	177,424	177,156	190,477	194,887	177,523
※児童図書の割合	30.44%	30.84%	32.45%	33.28%	33.01%



(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

市内全域サービスの充実を図るために、平成23年11月から運行を始めた移動図書館車(注5)「わっしょい文庫」は、常時約3,500冊の図書を積載し、ステーションの増設、巡回コースやステーションの見直しを行いながら、現在は6コース37ステーションを、2週間に1回の周期で巡回しています。

また、依頼のあったイベント等に図書館のPRも兼ねて移動図書館車が出向くなど、臨時出張サービスも始まったことで、徐々に移動図書館車の利用が増えています。

●移動図書館貸出冊数

単位：冊

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出冊数	20,277	21,927	23,806	23,813	20,980



移動図書館車の出張貸出（緑化祭）

(注5) **移動図書館車**：図書館に直接来館しにくい遠隔地域等の利用者のために、図書館資料を積んで定められた場所（ステーション）に行き、貸出・返却・検索業務等を行う車輛。防府図書館の移動図書館車は、本館との同時交信システムを導入。公募により選ばれた愛称「わっしょい文庫」の名で親しまれている。

また、市内の公民館 15ヶ所に設置している「地域文庫（注6）」や、団体貸出（「貸出文庫」（注7）「読書会文庫」（注8））の利用状況は、以下の通りです。

●地域文庫…公民館に15ヶ所設置。各文庫200冊ずつ年4回配本。

年度	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出者数	人	774	770	649	915	966
貸出冊数	冊	1,720	1,613	1,659	2,221	2,337

●団体貸出

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出文庫	団体数	-	97	98	142	150	152
	貸出冊数	冊	22,882	24,577	24,822	25,583	25,385
	貸出回数	回	741	822	861	861	827
読書会文庫	団体数	-	3	3	3	3	3
	貸出冊数	冊	299	298	294	294	257
	貸出回数	回	40	37	39	37	34

（注6）**地域文庫**：15ヶ所の公民館（野島は漁村センター）に、市立図書館の図書を約200冊配置し、貸出等のサービスを行っている本市の制度。図書は、3ヶ月ごとに交換し、利用者のリクエストにも応じている。

（注7）**貸出文庫**：市内の団体が市立図書館の図書を最大40冊まで1ヶ月間借りることができる本市の制度。学校等の教育施設や各種公共施設、民間団体などに貸し出している。

（注8）**読書会文庫**：少人数のグループで、特定の作家や特定のテーマに関する同一の著作を読み、意見や感想を述べ合う学習活動のための図書を貸し出す本市の制度。通常は5冊から10冊程度のセット図書を貸し出している。

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

平成29年度に約200万冊のデジタル化資料が利用できる国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」への登録が完了し、館内での閲覧・複写業務を開始しました。

平成30年度からは、図書館における中心的なサービスの一つである参考業務（レファレンスサービス（注9））向上のため、国立国会図書館レファレンス協同データベースに参加しています。

また、パスファインダー（注10）やミニブックの内容充実に努め、更なるレファレンスサービス充実のため、職員研修及び利用者へのフロアワーク（注11）の強化にも取り組みました。

さらに行政各部署や他の諸機関とも連携を密にし、「行政関係図書紹介」の発行や資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、関係機関や専門機関への紹介業務（レフェラルサービス）の強化に努めました。

●参考業務及び複写サービス件数（令和元年度）

(1)参考業務	1,324 件	(2)複写サービス	1,213 件
(内訳) 文書	0 件	(モノクロ 5,788 枚 カラー 1,022 枚)	
電話	26 件	(国立国会図書館 1,403 枚)	
口頭	1,298 件		

(注9) **レファレンスサービス (reference service)** : 知識や情報を求めてくる利用者に対し、図書館員が図書館の資料と機能を活用し、必要としている知識・情報の検索方法や参考資料を提供するサービス。現代の図書館の主軸をなす機能。参考業務とも言う。

(注10) **パスファインダー (pathfinder)** : 利用者に対して、特定の主題に関する各種情報資源や探索方法を紹介・提供する初歩的なツール。通常、その図書館のコレクションやサービスをもとに作成される。

(注11) **フロアワーク (floor work)** : 一般にはデスクワークに対する立ち仕事のことを指すが、図書館では図書館員がデスクやカウンターを離れ、書架の間を巡り、利用者のために行う利用案内、読書案内、レファレンスサービス等を総称して言う。フロアサービスとも言う。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

「防府市子ども読書フェスティバル」と「防府図書館まつり」は、防府図書館と関係機関及びボランティアや民間団体とが連携・協働して実行委員会を立ち上げて実施しています。毎年多くの参加者があり、市民にも浸透している人気のイベントになっています。

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

平成14年度から始まった「おはなしボランティア養成講座」は、平成26年度から講座名を「図書館ボランティア養成講座」と改めて、図書館の研修的要素を充実した内容にして、毎年4回開催しています。参加者も微増している状況で、講座終了後に図書館のボランティアとして参加できるように、図書館ボランティア団体「まーぶる」が平成31年4月に発足し、図書館内で活動を始めています。

また、「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催し、ボランティア同士の横断的な連携や共通理解を図るだけでなく、図書館サービスのあり方に対する現状と課題について意見交換を行いました。

さらに図書館職員が、ボランティア主催のお話会、研修会でブックトーク等をするなど、ボランティアとの連携・支援を推進しています。



防府市子ども読書フェスティバルでのワークショップ

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

防府図書館では、市民の生涯学習・文化の拠点の一つとして、市民と協働した集会文化活動を活発に行っています。第1次計画期間中には、子どもから大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル」(知的書評合戦)を新たに図書館主催で始めました。

また、年に一度開催する、図書館主催の「防府図書館利用者懇談会」や職員がトナカイやサンタに扮して開催する「クリスマスおはなし会」なども好評を得ています。

さらに、図書館内の展示コーナーでは、月替わりで変化に富んだ資料展示をしており、ブラウジングコーナー壁面を使って、行政諸機関・民間団体の展示等も行われています。

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

幅広い分野の資料を持ち、その場で利用のできる施設である図書館は、数多くの生涯学習グループの学習拠点として、大いに活用されています。図書館では、市民学習活動の場や機会、活動のための資料、施設、設備、用具などを提供していくとともに、その活動支援として、市広報やホームページ、図書館だよりなどにボランティアや学習サークルの講座やイベント記事を掲載しています。

令和元年度の図書館学習サークル等の活動実績は以下の通りです。(順不同)

★大人向け講座

- (1)防府図書館短歌会 講師：南本みどり 毎月第3水曜日
- (2)自由律句講座 講師：富永鳩山 毎月第3土曜日
- (3)源氏物語を読む会 講師：加藤宏文 毎月第1日曜日
- (4)青海波俳句会(中国支部) 毎月第2土曜日
- (5)子どもの本を読む会 奇数月第4土曜日
- (6)文学セミナー 不定期
- (7)万葉集講座 講師：吉村誠 毎月第2金曜日

- (8)倭王の物語講座（古事記を読む） 講師：吉村誠 毎月第4金曜日
- (9)防府史談会（郷土史研究会） 不定期
- (10)古文書を読む会 講師：柴原直樹 毎月第2土曜日
- (11)読書会 講師：森川信夫 毎月第2月曜日
- (12)防府歴史と考古学の会 講師：桑原邦彦 不定期
- (13)つれづれの会（エッセイや日記を楽しむ会） 奇数月第2水曜日
- (14)古典を味わう会「今昔物語集」 講師：森川信夫 毎月第4月曜日
- (15)防府友の会 不定期
- (16)防府市読書グループ連絡協議会 不定期

★子ども向け講座

- (1)なかよしくらぶ（お話ボランティア） 毎月第1金曜日
- (2)おはなしグループ森のくまさん（お話ボランティア）
毎月第2・4土曜日
- (3)おはなしでんしゃ（お話ボランティア） 毎月第2・4水曜日
- (4)劇団ジャンク派 毎月第1土曜日
- (5)ジュニア短歌教室 講師：木原樹庵 不定期

★その他（自主学习グループ、作品製作ボランティアグループ等）

- (1)学校図書館を考える会・防府 毎月第4土曜日
- (2)学校図書館を考える会・やまぐち 不定期
- (3)学校図書ボランティアネット・防府 不定期
- (4)布絵本「結う」（布絵本製作）毎月第1・3月曜日
- (5)あいの会（音訳ボランティア） 不定期
- (6)さざなみ21（朗読劇の勉強会） 毎月第2・4水曜日
- (7)防府図書館利用者・サークル連絡会 不定期
- (8)フォト・カプセル（写真サークル） 毎月第2日曜日
- (9)翠の会 不定期
- (10)防府市子ども読書フェスティバル実行委員会 不定期
- (11)図書館まつり実行委員会 不定期
- (12)陽だまりの会 不定期
- (13)学校司書研修 不定期
- (14)図書館ボランティア「まーぶる」 不定期

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域（郷土）資料（注12）を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

地域（郷土）資料については、個人の自費出版物や発行部数が少ないなどの制約がある中、迅速に出版情報を捉え、資料を収集する必要があるため、職員研修を実施しながら、常にアンテナを巡らせておく必要があります。同時に、防府市関係の過去の著作物に対しても、古書情報などを活用しながら可能な限り収集に努め、地域の特性を反映した資料構成（コレクション）の形成につながるよう、職員の研修強化をしながら引き続き取り組んでいます。

令和元年度末の郷土資料については、山口県関係資料が11,236冊、防府市関係資料が10,176冊所蔵しており、概ね計画通りに資料の収集ができています。

(2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

防府図書館が発行する郷土資料である防府史料については、毎年継続して刊行しており、令和元年度は第69集目となる『防府地形の変遷』（御菌生翁甫著・昭和28年刊翻刻）を出版し、ホームページにも掲載しました。

また、防府図書館の前身「三哲文庫」を市に寄贈した上山満之進翁の顕彰事業として、平成30年度には「上山満之進没後80年展」として、アスピラートで記念講演を含む資料展示を行い、令和元年度には「上山満之進生誕150年事業」として、「三哲文庫記念公園」での記念碑除幕をはじめ、ルルサス防府2階多目的ホールでの講演会と、防府図書館において上山翁ゆかりの絵画「東台湾臨海道路」の展示を行いました。

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

姉妹都市である韓国春川市の春川市立図書館との資料交換協定に基づき、毎年100冊程度の資料を交換しています。

また、ホストタウン事業と連携したセルビア関係資料の収集・展示を行うなど、他の外国の資料も積極的に収集し、国際理解を深めることに努めました。

(注12) **地域（郷土）資料**：図書館が存在する地域における出版物、及び地域に関する歴史や文化、風土、状況等を知る上で有効な資料。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

小・中学校の調べ学習の際に使用できる学校図書館支援図書を設置したこと、学校図書館支援センター（注13）の機能を持つ図書館管理室との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務が進んだことで、学校図書館への貸出冊数が倍増しており、学校図書館支援サービスは向上しています。

物流だけでなく学校司書の研修の機会や場の提供などにも協力しており、学校図書館の活性化の一翼を担っています。

平成29年度から令和元年度までの学校支援図書利用状況は、以下の通りです。

●学校支援図書 【平成29年2月から稼働】

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出件数(件)	-	-	143	256	338
貸出冊数(冊)	-	-	1,598	3,069	3,250

また、図書館から公民館や学校に職員を派遣しておはなし会やブックトーク等を行うなど、出前講座のサービスも提供をしています。

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

利用者から求められた資料や情報は、原則として可能な限り提供するという、図書館サービスの基本的な考え方にに基づき、県内外の図書館と資料の相互貸借を行っています。近年、連携の重要性が認識され始めたMLA連携（博物館・美術館 Museum と図書館 Library、文書館 Archives との連携）も強化しており、アスピラート、ソラール等の様々な企画・イベントと連携し、図書館内でも関連資料の展示等を実施しています。

(注13) **学校図書館支援センター**：地域内の学校図書館の運営や活用、学校図書館間の連携などに対する支援を目的として、教育委員会事務局内または公立図書館内に設けられた機能。図書館ネットワーク・システム構築の際の要として機能する。

令和元年度の図書館相互貸借の実績は、以下の通りです。

●防府図書館相互貸借実績（令和元年度）

館名	貸出冊数	借用冊数
山口県立山口図書館	45	117
下関市立図書館(6館)	69	40
宇部市立図書館	42	103
山口市立図書館(6館)	96	75
萩市立図書館(3館)	65	92
下松市立図書館	34	40
岩国市立図書館(7館)	90	72
光市立図書館	80	19
長門市立図書館	56	55
柳井市立図書館(2館)	64	11
美祢市立美祢図書館	4	46
周南市立図書館(6館)	126	147
山陽小野田市立図書館(2館)	49	27
周防大島町立図書館(4館)	118	4
和木町立図書館	6	1
田布施町立田布施図書館	38	6
平生町立平生図書館	35	1
県外の図書館(中国地方)	26	5
県外の図書館(その他)	9	2
国立国会図書館	0	0
山口大学図書館	8	2
山口県立大学図書館	0	5
合 計	1,060	870

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

子どもたちの調べる学習能力を向上させるため、平成25年度から小学生対象に「防府市調べる学習コンクール」を実施しています。平成28年度からは中学生の部も始まりました。その支援として、図書館では「調べる学習にチャレンジ！ー図書館で調べよう！考えよう！ー」を夏休み中に開催しています。子どもたちが図書館での本の調べ方や研究のまとめ方等について、図書館で相談できる機会を作る支援をしています。それは同時に、児童サービス向上のための職員研修の機会にもなっています。

「出前おはなし会」、「絵本の読み聞かせ会」、「ミニビブリオバトル」等の図書館職員が出向く企画や職場体験・図書館見学は、図書館のPRも兼ねており、子どもたちの読書に対する興味・関心や意欲を高める取組となっています。

子どもの読書活動推進に係る令和元年度の主な図書館主催事業は、以下の通りです。

- トーク&ワークショップとサイン会（防府市子ども読書フェスティバル）
演題：「絵本作家岡本よしろうさんトーク&ワークショップ」
講師：岡本 よしろうさん（画家・絵本作家）
5月26日（日）10：15～12：00
- 子ども図書館員
7月29日（月）・8月5日（月）14：00～16：50
参加者：両日とも各9名
- ほうふとしょかん出前おはなし会
毎月第3日曜日14：30～15：00
場所：イオン防府店3階キッズレジ横遊び場
参加者：延べ576人
- 調べる学習にチャレンジ！ー図書館で調べよう！考えよう！ー
場所：防府図書館準備室・お話のへや
日時：7/27（土）～8/24（土）までの8日間
参加者：17名
- 防府市図書館を使った調べる学習コンクール（募集 8月1日～9月30日）
応募者数 小学生の部52人（52作品）、中学生の部27人（24作品）

●第2回「防府図書館」ビブリオバトル(テーマ「動物」)

日時：11月9日(土)10:00～11:30

場所：防府図書館ブラウジングコーナー

バトラー：高校生2名、大人2名

参加者：23人

●クリスマスおはなし会

場所：防府図書館お話のへや

日時：12月21日(土)14:30～15:30

参加者：30人

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

子どもの読書活動に係る図書館ボランティアの主催する行事や研修会において、図書館職員がブックトーク等の支援をしており好評を得ています。

また、「防府市子ども読書フェスティバル」や「防府図書館まつり」などの行事におけるボランティアとの協働をより一層強化し、子どもの読書活動推進に係る図書館ボランティアへの活動機会や場所・設備・資料・情報の提供など、積極的な活動支援を行っています。



防府市子ども読書フェスティバルでのおはなし会

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

障害者や高齢者が気軽に読書に親しむことができる環境の整備を目指し、大活字本（注14）、点字図書（注15）を含む各種視聴覚資料、布絵本などを計画的に収集しました。そして移動図書館車「わっしょい文庫」の福祉施設巡回には大活字本等を多く搭載するなど資料の構成に配慮しています。

平成29年度には、インターネットコーナーに音声付障害者インターネット端末の配置をし、平成30年度には、リーディングルーペやリーディングトラッカー、携帯助聴機等を受付に配置するなど、図書館内における障害者や高齢者へのサービスの充実に取り組みました。

また、平成30年11月にリーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」を作成し、周知のために関係機関へ配布しました。

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

ボランティアに協力を仰ぎ、「防府図書館障害者サービスのご案内」点訳版と音訳版を作成し、関係機関へ配布し周知に努めました。

また、視覚障害者等、身体障害者への郵送貸出サービスを実施しました。

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

障害のある利用者のために、ボランティアが利用しやすい読み上げ機能付きコンピュータ・システムを設置したり、図書館におけるボランティア活動をホームページ上で紹介したりしました。

(注 14) **大活字本**：弱視者や高齢者用に、大きな活字で印刷された図書。

(注 15) **点字図書**：点字で書かれた図書。点字は表面が突起した点を紙に記し、その組み合わせによって音を表す文字。視覚障害者はこれを指先の触覚を利用して読み取る。